

講義名	教養特講Ⅱ（社会保障を考える）		
科目区分	教養特講		
担当教員	上瀧 真生		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人	1年生	単位数 2 備考

主題と概要
<p>現代社会において国民が健康で文化的な生活を実現するには、社会保障制度が不可欠である。老後生活を保障する公的年金、病气やけがに対応する医療制度、身体的・精神的障害に対応する介護制度、失業時の保障、育児のための制度などの社会保障制度がなければ、私たちの生活は成り立たない。この講義では、社会保障の理念の発展と制度の体系を概観することで社会保障という仕組みの基本を理解するとともに、わが国の年金制度を取り上げてその仕組みと現在の問題点を考える。</p>

到達目標
<p>①社会保障をめぐる問題に関心をもつこと。 ②社会保障制度についての基本的知識を身につけること。 ③社会保障制度についての自分なりの考えをもつこと。</p>

提出課題
<p>講義時に2回小テストを課す。 また、中間レポート試験を課す。 中間レポート試験を提出した者にも、定期試験の受験資格を与える。</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>講義後に提出してもらった「一言カード」にもとづいて、次回講義時に必要な補足説明・解説を行なう。 中間レポート試験については、返却する。 期末試験については、要望があればコメントを付して採点結果を伝える。</p>

評価の基準
<p>定期試験、講義時間中に行う小テスト、中間レポート試験の総合評価（単純合計）による。 小テスト 10点満点×2=20点満点 中間レポート試験 最高10点 定期試験 80点満点</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>社会保障制度は多くの制度・仕組みの組み合わせで成り立っているため、複雑でややこしく、取っつきにくいと感じる受講生がいるかもしれない。できるだけ身近な問題との関係を踏まえて基本的な考え方を講義するつもりであるため、受講生も新聞や雑誌などの関連記事に目を通し、今日の社会保障をめぐる問題について知る努力をしてほしい。</p> <p>なお、以下のとおり、受講ルールを定める。 (1) 授業開始後15分を経過したのちは入退室を認めない。 (2) 座席については教員の指示にしたがう。 (3) 私語は厳禁。目にあまる場合は退室してもらう。 (4) 携帯電話などの電源は切る。</p>

教科書
<p>・教科書は使用しない。</p>

プリント資料及び参考文献
<p>講義時にプリントを配布する。 参考文献：『社会福祉学習双書2020 第6巻 社会保障論』全国社会福祉協議会</p>

授業計画
<p>01. 社会保障とはなにか 02. 現代社会における社会保障制度の課題①—人口の変化 03. 現代社会における社会保障制度の課題②—労働と家族の変化 04. 社会保障制度の歴史①—イギリスの歴史 05. 社会保障制度の歴史②—ドイツ・フランス・アメリカの歴史 06. 社会保障制度の歴史③—日本の歴史 07. 社会保障の財源と費用①—社会保険の財源（社会保険料、税財源投入、利用者負担、積立金） 08. 社会保障の財源と費用②—税財源にもとづく制度 09. 社会保険と社会扶助①—社会保険のしくみ 10. 社会保険と社会扶助②—社会保険の意義と限界 11. 社会保険と社会扶助③—社会扶助の意義と限界 12. 年金保険制度の概要と課題①—年金の種類と財政のしくみ 13. 年金保険制度の概要と課題②—二階建ての年金制度 14. 年金保険制度の概要と課題③—国民年金のしくみ 15. 年金保険制度の概要と課題④—厚生年金のしくみ</p>

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<p>ア：PBL（課題解決型学習） イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ウ：ディスカッション、ディベート エ：グループワーク オ：プレゼンテーション カ：実習、フィールドワーク</p>

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>毎回の復習にもとづく小テストの準備 30時間 中間レポート試験の準備 15時間 定期試験の準備 15時間</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>「一言カード」にもとづき、次回講義時に必要な補足説明・解説を行なう。 できる限り、受講生に意見を述べる機会を与える。</p>

実務経験の有無及び活用

備考